

安全衛生指導業務

《論点等説明資料》

省内事業仕分け室作成資料

主な論点

- 労働災害の発生状況等について、的確に分析し、それをどのように認識しているか。

(参考) 労働災害発生状況 (死亡者 総数 : 1075 人 平成 21 年)

(業種別の割合)

建設業	34.5%
製造業	30.0%
陸上貨物運送事業	17.3%
林業	11.3%
交通運輸業	4.0%
港湾荷役業	1.1%
鉱業	0.9%
その他	0.8%

(事故の型別の割合)

転倒	26.9%
墜落・転落	22.1%
はさまれ・巻き込まれ	14.0%
動作の反動・無理な動作	6.9%
切れ・こすれ	6.2%
交通事故	5.3%
その他	18.6%

- 安全衛生指導について、労働災害の発生状況等を踏まえ、計画的かつ効果的に行われているか。

(参考)

- ・ 労働者死傷病報告から選定した集中指導事業場 563 件
- ・ 電離放射線に係る特殊健康診断結果の定期報告から選定した指導事業場数 41 件 (指導対象労働者数 44 人)
- ・ じん肺管理区分決定状況から選定した指導事業場数
新規有所見者が発生した全事業場
- ・ 精神障害の労災支給決定状況から選定した指導事業場
労災支給決定がされた全事業場

(次ページに続く)

<労働災害防止計画>

○ 労働災害の発生状況について、その原因を的確に分析しているか。

(参考) 労働災害発生状況 (死亡者 総数: 1075 人 平成 21 年)

(業種別の割合)

建設業	34.5%
製造業	30.0%
陸上貨物運送事業	17.3%
林業	11.3%
交通運輸業	4.0%
港湾荷役業	1.1%
鉱業	0.9%
その他	0.8%

(事故の型別の割合)

転倒	26.9%
墜落・転落	22.1%
はさまれ・巻き込まれ	14.0%
動作の反動・無理な動作	6.9%
切れ・こすれ	6.2%
交通事故	5.3%
その他	18.6%

○ 安全衛生指導については、本省及び都道府県労働局において労働災害防止計画を作成している。

- ① 本省が策定する労働災害防止計画について、労災発生状況等を踏まえて適切に策定されているか。
- ② 都道府県労働局が策定する労働災害防止計画について、全国的な重点取組と地域の状況等を踏まえて適切に策定されているか。

(参考) 本省の労働災害防止計画の主な指標における達成状況及び新計画への反映状況 (別紙)

<災害防止に関する指導>

○ 安全衛生指導について、集団指導と個別指導を適切に組み合わせて指導を行っているか。

(参考) 集団指導件数、個別指導件数

- 1 集団指導件数 6, 226件
- 2 個別指導件数 21, 313件

○ 個別に指導を行う対象事業場は、労働災害の発生状況等を踏まえ、計画的に選ばれているのか。

(参考1) 指導対象事業場の選定状況

- 1 労働者死傷病報告の提出状況から労働災害の多発事業場を選定し、安全衛生管理に問題がある事業場に指定して集中的な指導を実施。

報告提出数 114, 152件 → 安全管理特別指導事業場 563件

(次ページに続く)

- 2 電離放射線に係る特殊健康診断結果の定期報告から年間の被ばく線量が高い事業場を選定し、被ばく低減下に向けた指導を実施。

定期報告数 13,241件→指導対象事業場数 41件(指導対象となる労働者数44人)

- 3 じん肺管理区分決定状況からじん肺新規有所見者の発生事業場を選定し、粉じん障害防止対策について指導を実施。

じん肺新規有所見者数233人 → 指導対象事業場 新規有所見者が発生した事業場全て

- 4 精神障害の労災支給決定状況からメンタルヘルス対策や過重労働対策が不十分と考えられる事業場を選定し、メンタルヘルス対策や定期健康診断における有所見率の改善に向けた指導を実施。

精神障害の労災支給決定に係る件数 234件

→ 指導対象事業場 労災支給決定がされた事業場全て

○ 労働者死傷病報告、定期報告について、システムにより管理、蓄積し、分析、評価を行っているとのことであるが、どのような分析を行っているのか。

(参考1) 蓄積件数

- 1 特殊健康診断実施結果に関する情報(平成21年度)

(1) 実施事業場 91,016事業場

(2) 受診労働者数 2,099,488人

(3) 有所見労働者数 135,540人

- 2 じん肺健康管理実施状況(平成21年度)

(1) 粉じん作業事業場数 42,371事業場

(2) 粉じん作業従事労働者数 415,288事業場

(3) じん肺健康診断実施事業場数 18,237事業場

(4) じん肺健康診断実施労働者数 213,784人

(5) じん肺新規有所見者数 233人 等

(参考2) 分析結果等

- 1 有害な化学物質等を扱う業務に従事する労働者が受診する特殊健康診断の結果は労働基準監督署への報告が義務付けられており、報告された健診結果については業種別・項目別に集計を実施(全国計は公表)。監督署においては、こうした分析結果を管内の事業場における有所見率と全国の有所見率を比較することにより対象業種、作業、事業場の選定に活用

- 2 業種及び粉じん作業別に、粉じん作業事業場数、粉じん作業従事労働者数、じん肺健康診断実施事業場数、じん肺健康診断実施労働者数及びじん肺新規有所見者数を分析することにより、重点対象とすべき問題業種及び問題作業の選定に活用

(次ページに続く)

- 企業には様々な業種があり、多様な労働現場がある中で、労働災害の防止についても、現場に沿った対策が必要となるが、監督署ではどのように工夫して指導しているのか。

(参考) 指導の具体例

- 1 小売業、飲食業、ビルメンテナンス業、社会福祉施設といった第三次産業における労働災害が増加していることから、これらの業種で発生した災害事例を取り纏めた資料を作成し、過去に発生した災害の内容、原因、再発防止策等について個別指導、集団指導を実施。
- 2 交通労働災害が多発している場所を管内の地図に記入した「交通危険マップ」を作成し、陸上貨物運送業等の指導の際に配付。

- 労災防止指導員はどのような活動を行っているのか。どのような効果があるのか。
- 災害防止活動においては、災防団体や都道府県医師会を始め、関係機関との協力が必要であるが、どのように連携しているのか。その中で、労働局や監督署はどのような役割を果たしているのか。
- 安全衛生指導に当たっては、機械、化学物質、医療等に関する専門知識等が必要であるが、職員に対する研修は十分に行われているか。

<計画届の審査>

- 建設工事等の計画届の審査に当たり、どのような指導を行っているのか。安全衛生の確保にどのように寄与しているのか。

(参考) 建設工事等の計画届の件数

- 1 届出件数 115,591件
- 2 改善指導件数 10,839件
- 3 実地指導件数 10,804件

<ボイラーの検査等>

- ボイラー等の検査のうち、使用中のボイラー等の定期的な検査については登録機関で実施、製造段階における検査を労働局で行っているが、労働局で行っている検査を民間に委ねることができないか。

第10次計画の結果及び第11次計画への反映状況

別紙

		第10次労働災害防止計画	第11次労働災害防止計画
		平成15年度～平成19年度	平成20年度～平成24年度
目標	死亡者数	目標: 死亡者数について年間1500人を大きく下回ること 結果: 平成19年の死亡者数1357人 課題: 更にその減少を期すことが必要	対策(共通): 重篤な労働災害を防止するための具体的な施策、労働災害全体を減少させるためのリスク低減対策の推進 目標: 対平成19年比20%以上減少
	死傷者数	目標: 計画期間中の労働災害総件数を20%以上減少 結果: 死傷者数の最も多い第3次産業で増加傾向、その他の業種でも大幅な減少が見られず、平成19年末で10%減少 課題: 着実な減少を期すことが必要	目標: 対平成19年比15%以上減少
	定期健康診断の有所見率	目標: 目標としては定められていない 結果: 年々増加し、平成19年で49.9%(平成14年46.7%) 課題: 増加傾向に歯止めをかけ、減少に転じさせることが必要	対策: 労働者の自主的な健康管理の取組の推進、健康診断等の結果に基づく健康管理の徹底 目標: 定期健康診断における有所見率の増加傾向に歯止め、減少に転じさせる
重点対策及びその目標	リスクアセスメント	取組: 平成18年4月、労働安全衛生法改正により、リスクアセスメントの努力義務化等 結果及び課題: 実施率は、人材不足、実施方法がわからない等の理由で、約2割	対策: リスクアセスメントについて、作業内容に即した具体的な実施方法の公表及びその普及、事業場内外の人材養成の促進等 目標: 実施率の着実な向上
	メンタルヘルス	取組: 「労働者の心の健康保持増進のための指針」の策定等 結果及び課題: 職業生活等において強い不安、ストレス等を感じる労働者は6割以上、業務による心理的負荷を原因とする精神障害等に係る労災認定件数は増加傾向	対策: メンタルヘルスについて、労働者の気づきを促す教育・研修等の実施、事業場内外の相談体制の整備、職場復帰対策等 目標: メンタルヘルスケアに取り組んでいる事業場を、半数以上とする
	その他	化学物質におけるリスクアセスメント、機械災害の防止、墜落・転落災害の防止、粉じん障害の防止、化学物質による健康障害の防止等	10次計画の取組の成果、課題等を踏まえ、重点的に取り組む